



学校だより

令和4年 2月 28日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka>



平和を願って

校長 仲川 美世子

華やかな中にも新しい技術をたくさん見ることでできた開会式をはじめとする平和の祭典、冬季オリンピックが閉幕しました。冬のスポーツ、身近に感じられるものからとてもじゃないけど真似できないと思う種目まで、夏のオリンピックとはまた違った楽しい時間を味わうことができました。オリンピックは参加することに意義があると言われるなど、ただ勝ち負けを競うのではなく、そこに至るまでの個人の努力や周囲の支えも含めたすべてを表現できる素晴らしい場所ではないかと思います。選手の一挙手一投足に感動できるのはそのような理由なのではないでしょうか。ですから、今回のように少し政治的な背景が語られてしまうのはとても残念です。純粋に「平和の祭典」として、人種も民族も国家も関係なく、スポーツを愛する人たちが競い合う姿に感動でき未来を支える子どもたちに夢と希望を与える場所であってほしいと願わざるを得ません。

そのような「平和の祭典」を開催するに当たり、「オリンピック憲章」という大切な決まり事があることを知りました。そこには、オリンピックを開催するために見直されていくものと普遍的な目的がありました。「オリンピズム」です。スポーツを極めるということは体を鍛えることだけではなく、強い心をもち、そして知性も身につけなければならない、それが目指す人間像なのだそうです。そのような人々が競い合う場だからこそ、見る人に感動を与え、素晴らしい影響力があるのだと思います。そしてそのような時間を全世界の人々が共有することができれば、差別やいじめや暴力のない世界が実現できる、と説いている憲章なのです。

もちろん、それは理想かもしれませんが、でも理想であっても語らなければ何も始まりません。学校教育も似たようなところがあると思います。いじめや暴力、差別のない毎日が続き、そのような世の中をつくることができる人を育てていくことを目指しています。子どもたちは日々成長しています。良いときもあれば良くないときもあります。それらすべてが成長の一部です。私たち教職員はできるだけ子どもたち一人一人のすべてを受け入れ、励まし、伸ばしていくために努力をしているつもりです。でもそれは学校だけでは難しいです。ご家庭とそして地域のご協力あってのものです。

今年度も感染症による影響が大きく、満足のいく教育活動を展開することは叶いませんでした。近々、今年度の振り返りを皆様にお届けする予定ですが、できたこと、できなかったことを踏まえてこれからも理想を掲げて進んでいきたいと思っています。ここに今年度の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、来年度も変わらずご支援いただけますよう、よろしく願いいたします。

